

ワンコイン・ビジネスセキュリティサービス

- ウイルスバスター ver6.7における変更点について
 1. システム要件の変更
 2. Mac OS URLフィルタ機能の追加
 3. インストーラダウンロード画面の変更
 4. 管理者画面表示の変更
 5. ディスクイメージを使用したエージェントの展開
 6. バージョン6.7配信のタイミング

1. システム要件の変更

- サポート開始

- macOS 10.15 Catalina
- Android OS 10.0
- iOS 13

- サポート終了

- Windows

現在ver6.5でサポートされている下記OSは、ver6.7リリース以降すべてのバージョンでサポートされなくなります。

- Windows Server 2008 Foundation/Standard/Enterprise/Datacenter SP2
 - Windows SBS 2008 Standard/Premium SP2
 - Windows EBS 2008 Standard/Premium SP2
 - Windows Storage Server 2008 Workgroup/Standard/Enterprise SP2
- OS X 10.10 (Yosemite)
 - Android OS 5.0,5.1
 - iOS 8

サポートされていないクライアントを確認する方法

- サポート対象外のクライアントが存在する場合、管理者画面上に「サポートされていないオペレーティングシステム」フィルタが追加され、該当の端末を確認することができます。



The screenshot shows a management interface with a sidebar on the left and a main content area on the right. The sidebar contains a search bar and a list of filters. The main content area displays a table of clients under the heading 'サポートされていないオペレーティングシステム' (Unsupported Operating Systems). A message above the table states: 'サポートされていないオペレーティングシステムを実行しているビジネスセキュリティクライアントは、最新バージョンにアップグレードできません: 1' (Business security clients running unsupported operating systems cannot be upgraded to the latest version: 1). An 'エクスポート' (Export) button is located above the table. The table has four columns: 'エンドポイント ↑' (Endpoint), 'オペレーティングシステム' (Operating System), 'クライアントのバージョン' (Client Version), and 'IPv4アドレス' (IPv4 Address). One client is listed: 'Client01-Win7' with OS 'Win 7', version '6.3.1297/13.1.2079', and IP address '172.16.5.112'.

エンドポイント ↑	オペレーティングシステム	クライアントのバージョン	IPv4アドレス
Client01-Win7	Win 7	6.3.1297/13.1.2079	172.16.5.112

2. Mac OS URLフィルタ機能の追加

- Windows用のURLフィルタ機能と同様に、カテゴリごとのフィルタルールや業務時間の設定が可能です。
 - 「ポリシーの設定」-「URLフィルタ」
- ※初期設定では、URLフィルタは無効となっています。

ポリシーの設定: デバイス (初期設定)

対象とサービスの設定

OS: Windows, macOS, iOS

脅威からの保護機能

- 検索設定
- 機械学習型検索
- Webレピュテーション

情報漏えい対策

- デバイスコントロール
- アクセスコントロール
- URLフィルタ**

除外リスト

- 承認済みURL
- 検索除外

エージェントの設定

- 権限およびその他の設定

URLフィルタ

URLフィルタを有効にすると、管理者は、1日のさまざまな時間帯でブロックする特定の種類のWebサイトを設定することができます。

オン

フィルタ強度

- 高 既知または潜在的なセキュリティ上の脅威、不適切なコンテンツまたは有害である可能性のあるコンテンツ、生産性または帯域幅に影響する可能性のあるコンテンツ、および未評価のページをブロックします
- 中 既知のセキュリティ上の脅威および不適切なコンテンツをブロックします
- 低 (初期設定) 既知のセキュリティ上の脅威をブロックします
- カスタム ブロックするURLカテゴリを指定する

フィルタルール

URLカテゴリ	<input checked="" type="checkbox"/> 業務時間	<input type="checkbox"/> 業務時間外
<input checked="" type="checkbox"/> アダルト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> ビジネス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション/メディア	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> インターネットのセキュリティ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ライフスタイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ネットワーク	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

URLのカテゴリや安全性の評価を確認するには、次のWebサイトにアクセスしてください。 <http://sitesafety.trendmicro.com/>

対応Webブラウザ

下記WebブラウザのHTTP/1.1通信

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Safari

※詳細は最新のシステム要件をご確認ください

3. インストーラダウンロード画面の変更

- インストーラのダウンロード
 - 「セキュリティエージェント」-「セキュリティエージェントの追加」にて、インストーラのダウンロード時、OS種類を選択してダウンロードできるようになりました。
 - Windows端末上でダウンロードしたMac用インストーラを、Mac端末へコピーして実行しないでください。正常にインストールできない可能性があります。

セキュリティエージェントのインストール方法

インストール方法の選択: セキュリティエージェントの追加先: 初期設定

インストーラリンクの送信 **インストーラのダウンロード** このエンドポイントにインストール

メールコンテンツの表示
リンクの有効期限の設定

配信スクリプトを
MSIパッケージを使った他の
の手順 **New!**

クリックすると表示

セキュリティエージェントのインストーラ

Windows Mac

ダウンロード

ダウンロードユーティリティ (WFBS-SVC_Downloader.exe) をダウンロードして実行し、セキュリティエージェントのインストーラ (WFBS-SVC_Agent_Installer.msi) を取得します。

ダウンロードされるファイル名

Windows : WFBS-SVC_Downloader.exe
Mac : WFBS-SVC_Agent_Installer.pkg.zip

4. 管理者画面表示の変更

- 「ダッシュボード」画面のウィジェット改修

- ダッシュボードの「ランサムウェアの概要」ウィジェットが、「感染経路別の検出数」ウィジェットに変更されました。プルダウンより [すべての脅威] または [ランサムウェア] から表示する脅威の種類を選択できます。

6.6(ランサムウェアの概要)



6.7(感染経路別の検出数)



[すべての脅威]選択時に表示される脅威ログのカテゴリ

- ・ウイルス/不正プログラム対策
- ・Webレピュテーション
- ・挙動監視
- ・機械学習型検索

4. 管理者画面表示の変更

• 「ログ」画面のUI改修

– 「ログ」画面にて表示するログの日時情報を、受信日時/生成日時から選択して表示できるようになりました。

- 受信 : サーバがログを受信した日時 (既定値)
- 生成 : エージェントがログを生成した日時

ログ New! 日時: 受信

セキュリティリスクの検出: すべて 過去7日間 脅威/違反 2件 [エクスポート] [リフレッシュ]

受信 ↓	カテゴリ	脅威/違反	ファイルのパス/対象	処理/結果	エンドポイント	ユーザ	詳細
2019年08月21日 14:49:13	ウイルス/不正プログラム	Eicar_test_1	C:\Users\user01\Downloa...	隔離	win10PC	user01	[メニュー] [拡大] [検索]
2019年08月21日 14:46:32	Webレピュテーション	http://wrs41.winshipway...	-	ブロック	win10PC	user01	[メニュー] [拡大] [検索]

ログ New! 日時: 生成

セキュリティリスクの検出: すべて 過去7日間 脅威/違反 2件 [エクスポート] [リフレッシュ]

生成 ↓	カテゴリ	脅威/違反	ファイルのパス/対象	処理/結果	エンドポイント	ユーザ	詳細
2019年08月21日 14:48:49	ウイルス/不正プログラム	Eicar_test_1	C:\Users\user01\Downloa...	隔離	win10PC	user01	[メニュー] [拡大] [検索]
2019年08月14日 18:00:00	Webレピュテーション	http://wrs41.winshipway...	-	ブロック	win10PC	user01	[メニュー] [拡大] [検索]

※ver6.6の管理者画面で表示されていたのは受信日時です。

※[エクスポート]からエクスポートするCSVファイルには、受信日時と生成日時の両方が記載されます。

5. ディスクイメージを使用したエージェントの展開

- GUIDリセットツールを使うことで、複数端末への展開用ディスクイメージ作成前に、エージェント管理に利用される識別ID（GUID）をリセットすることができます。
 - 「管理」-「ツール」からダウンロード可能です。
 - 本ツールの詳細は、製品FAQおよびオンラインヘルプにてご確認ください。

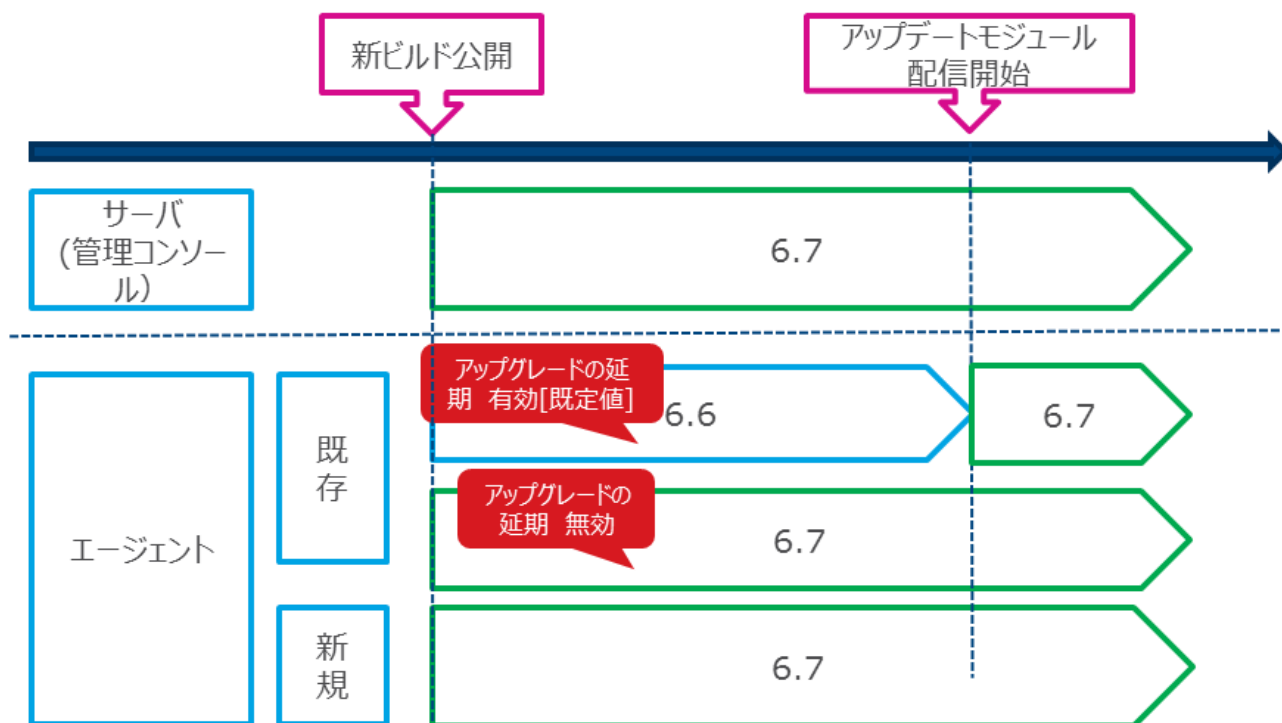
The screenshot shows a management console interface. On the left is a navigation menu with items like '一般設定', 'モバイルデバイス登録設定', 'ユーザアカウント', '通知', 'Active Directoryの設定', 'Trend Micro Remote Manager', 'Smart Protection Network', '回復キーのパスワード', and 'ツール'. The main content area is titled 'ツール' and contains several tool descriptions. A red box highlights a specific tool with the following text:

!!Image Cloning Setup Tool!!
!!Use the tool to prepare necessary registry key values used for the Security Agent program before creating a cloned image for mass deployment!!

Below the highlighted text are links for 'ツールのダウンロード' and '詳細情報'.

6. バージョン6.7配信のタイミング

- リリース後、一定期間を経過後にエージェント側へ配信します
- 新規インストーラはアップデートモジュール配信開始と同時に置き換わります
- 新機能は、ver6.7エージェント配信開始後より使用可能です



*既存エージェントへの配信は、下記の設定値に依存します
「ポリシーの設定」-「権限およびその他の設定」-「その他の設定」タブの
[アップグレードの延期]設定

